

# ひろの

# 議会だより

P2

令和6年度予算成立

P4

令和6年度  
注目事業

P10

常任委員会報告

P12

5人の議員が  
町政を問う  
(一般質問)

No.161

こども園  
入園式

広野こども園に  
0歳から5歳までの  
元気な25人の園児が  
入園しました。



QRコードを読み込  
むと議会の情報を見  
ることができます。

# 令和6年度予算成立

3月定例会



令和6年第1回定例会を3月7日から15日までの9日間の会期で開きました。町長が施政方針を述べ、一般質問には5人の議員が、雇用、経済、子育て、脱炭素、移動手段などについて、町の考えをたどりました。

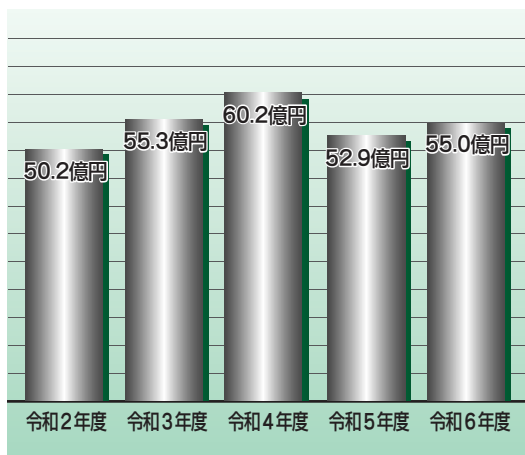
町提出案件は22件で、人事、条例の一部改正、令和5年度3月補正予算、令和6年度当初予算などを審議し、全て原案のとおり可決しました。

## 令和6年度予算の概要

予算の大部分を占める令和6年度一般会計予算は、55億422万円と昨年度に比べ約4%の増となりました。

東日本大震災からの復興・創生への取組を優先し、地域包括ケアシステムの拡充、ゼロカーボンビジョンの推進、移住・定住施策として駅東側第2期開発住宅用地取得支援事業を核にした予算編成となっています。

### 一般会計予算額の推移



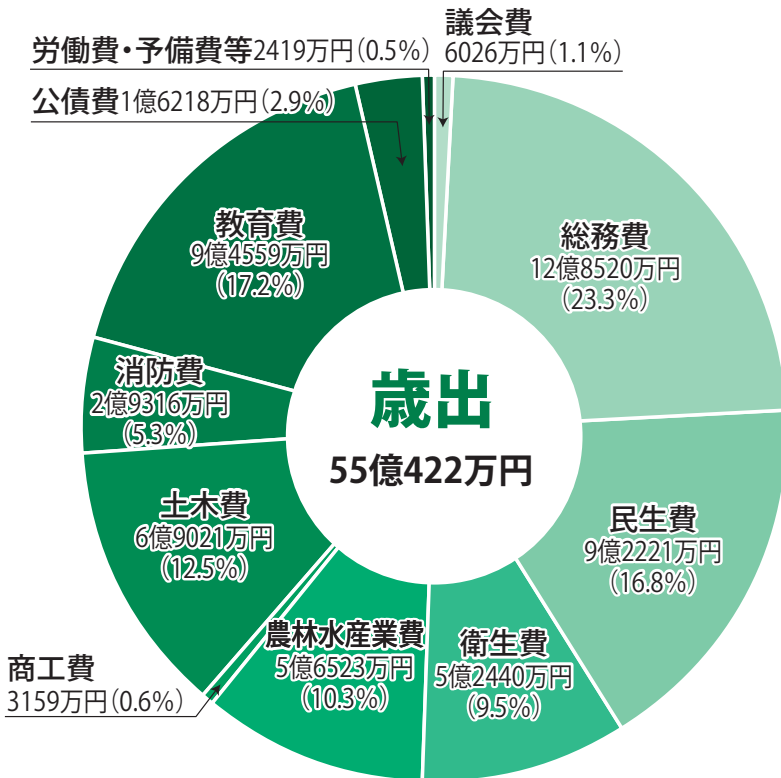
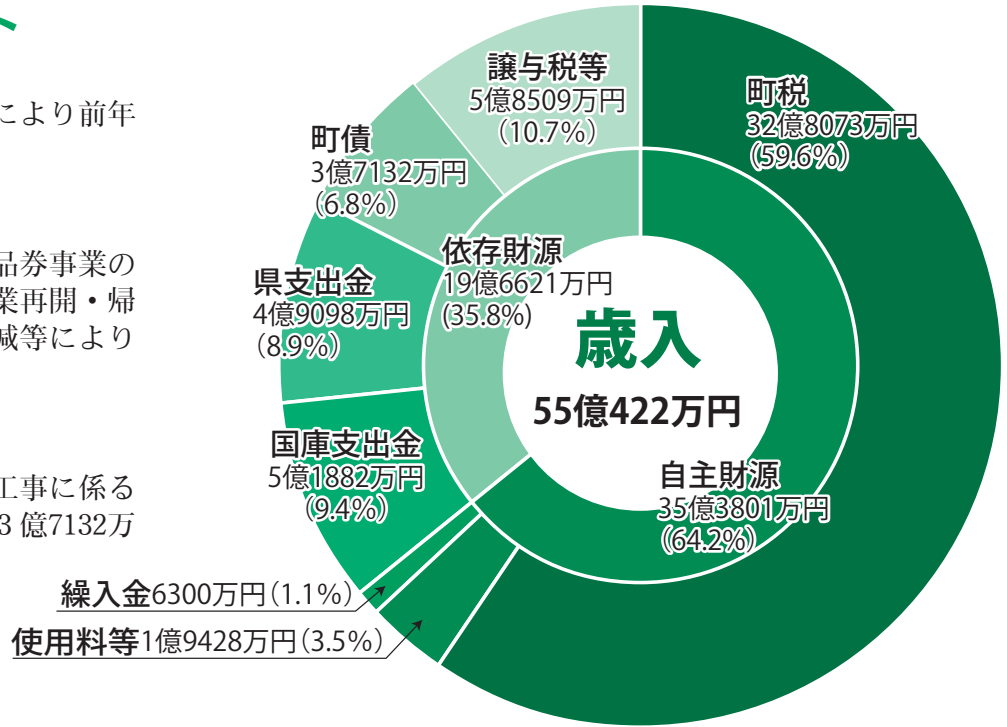
### 令和6年度各会計当初予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	55億 422万円	4.0% ↑
特別会計	国民健康保険	7億9431万円 1.1% ↓
	土地開発事業	5458万円 32.3% ↓
	介護保険	5億7172万円 14.2% ↓
	後期高齢者医療	6072万円 145.5% ↑
下水道事業会計※	3億6872万円	64.5% ↑
合計	73億5427万円	3.7% ↑

※下水道事業会計：公共下水道事業特別会計並びに農業集落排水事業特別会計は、地方公営企業法に基づき、事業の経営基盤強化や財政マネジメントの向上に的確に取り組むため、令和6年4月より公営企業会計（下水道事業会計）に移行し一本化しました。前年度比は移行前2つの特別会計予算の合計額との差。

## 歳入のポイント

- ・町税  
固定資産税の減等により前年度比8756万円減
- ・県支出金  
プレミアム付き商品券事業の終了に伴う福島県事業再開・帰還促進事業交付金の減等により1億3395万円減
- ・町債  
給食センター建設工事に係る地方債の起債により3億7132万円増



## 歳出のポイント

- ・衛生費  
南部衛生センター焼却施設整備事業に係る双葉地方広域市町村圏組合塵芥（ごみ）処理費負担金増等により1億4594万円増
- ・商工費  
プレミアム付き商品券事業の終了等により全体で1億3398万円減
- ・教育費  
給食センター建設工事費等の増により4億4076万円増

## 用語解説

町 税：住民税、固定資産税など  
繰入金：基金から繰り入れるお金  
使用料等：住宅・駐車場の使用料など  
国庫支出金：特定事業に使う国の補助金など  
県支出金：特定事業に使う県の補助金など  
譲与税等：財政格差是正の地方交付税など  
町 債：特定事業の財源としての借入金  
議 会 費：議会運営など  
総 務 費：役場の財産管理、地域振興など

民 生 費：社会福祉、介護、こども園など  
衛 生 費：保健衛生、ゴミの清掃など  
農林水産費：農業・林業・水産業の振興など  
商 業 費：商工業・観光の振興など  
土 木 費：道路・橋の建設、維持管理など  
消 防 費：消防・水防・防災対策など  
教 育 費：教育・文化・スポーツの充実など  
公 債 費：借りたお金の返済など

令和6年度予算

# 注目事業クローズアップ!

議会が特に注目した事業を紹介します。



広野こども園（1歳児）の保育の様子

## 保育料無償化事業

広野こども園及び町外施設（広域保育）に通う広野町民（0～2歳児）の保育料を無償化します。

※延長保育は無償化の対象外です。

## 子育て世帯訪問支援事業

家事・育児等の不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児等の支援を実施し、家庭環境や養育環境を整え、虐待リスク等を未然に防ぎます。



訪問支援員の皆さん（広野町社会福祉協議会）



現給食センター

## 学校給食共同調理場整備事業

衛生基準適合化と施設の見える化及び食育の充実を図ることを目的に学校給食共同調理場（給食センター）の改修を行います。令和6年度から新給食センター建設工事に着手し、令和7年7月に完成予定です。

## 土砂採取区域 森林機能回復事業

福島県の林地開発と土砂採取事業の許可を取得して実施していた折木地区土砂採取事業が硬質な岩盤の出現により途中で中止となったため、土砂採取事業を安全に完了させ、森林の機能を回復させます。



折木地区土砂採取区域



広野暮らし相談窓口（移住フェア出展：東京都）

## 移住・定住促進事業

専門窓口によるワンストップ相談支援体制の確立、インターネット等を活用した情報発信、移住支援ツアーの開催、インターン生の受け入れ支援、アーティスト等との地域交流等を通じた移住・定住の促進事業を実施します。

駅東側開発地区住宅団地の購入者に対する住宅用地取得支援事業も継続して実施します。

## 二ツ沼総合公園 施設修繕

二ツ沼総合公園のリフレッシュ施設、ふるさと広野館、合宿所について、令和4年3月に発生した福島県沖地震で被災し、建屋に隙間、外壁に剥がれなどが発生しており、大規模な修繕が必要となったことから、実施設計を行い、完了次第早期の修繕実施を目指します。



左) ふるさと広野館、右) リフレッシュ施設

## タクシー利用料金 助成事業

日常生活での移動手段に不安を感じている高齢者などを対象に、タクシー利用料金の一部を助成します。（1枚500円のタクシー券を最大24枚）

## 集会所 空調機設置工事

夏場の酷暑や地域防災計画において避難所の扱いになっていることを鑑み、全ての集会所にエアコンを設置します。

## 電気自動車等 導入費補助金

燃料電池自動車、電気自動車、PHEV（プラグインハイブリット車）の新車導入に最大5万円/台、電気自動車等充電設備の新品導入に最大10万円/台の補助金を交付します。

## 令和6年度当初予算

### 保育料無償化事業

**西内 玄太 議員** 無償化の認識は？

歳入として保育認定負担金、一時保育利用者負担金、教育認定預かり保育料、保育認定延長保育料が計上されていますが、こちらを除く一般的な保育料については、第何子かや所得を問わず完全に無償化が図られるという認識でよろしいか伺います。

**坂本 こども家庭課長** 広野町民の基本的な保育料を無償化

広野こども園の保育料無償化ではなく、広野町民（0歳～2歳）の保育料無償化です。保育認定負担金については、町外からの広域受託保育に係る保育料です。

一時保育、教育認定預かり保育、延長保育については、広野町民、他市町村民間問わず無償化ではありません。本事業は0歳～2歳の基本的な保育料の無償化となっています。

### デマンド交通・タクシー利用料金助成事業

**渡邊 忠義 議員** 予算の根拠は？

町民から「デマンド交通は利用者がいつも同じ」、「タクシー利用料金をもっと助成してほしい」との声を聞きます。予算について伺います。

**飯島 総務課長** 利用者の声を反映、広野町に合った地域公共交通を検証

令和5年の7月から地域公共交通活性化事業「NOSSE（のっせ）」として町民バスとデマンド交通のハイブリット方式で運行してきました。「タクシー利用料金助成事業の方が使いやすい」など色々な声があり、令和6年度において、NOSSE（のっせ）に加えて過去に実施していたタクシー利用料金助成事業をプラスして、利用の状況を鑑みながら広野町に合った地域公共交通を検証していきます。

### 防災マップ制作業務委託

**高木 光雄 議員** 新しく作成するのか？

防災マップは昨年度も予算化されていましたが、新しく作成するのか伺います。

**遠藤 環境防災課長** 別河川の防災マップを作成

令和5年度は浅見川の河川ハザードマップを作成しており、今年度末に完成して町民に配布をする予定です。

令和6年度、令和7年度の2カ年で北迫川と折木川の河川ハザードマップの作成を計画しており、令和6年度は両河川の地形測量等の業務を行う予算を計上していません。



水位計（浅見川小松橋）

# 自治体産品開発・販売による魅力発信事業

西本 久雄 議員

事業内容と含まれる費用は？

スイーツ甲子園等を行う事業費として委託料が計上されています。具体的にはどのような内容で、こういった費用が含まれているのか伺います。

小松 復興企画課長

全国規模のイベント、店頭に出せる商品を開発

令和5年度、大熊町、富岡町、楡葉町が事業主体となり実施しているイベントです。継続事業として広野町も加えた4町による事業としてJヴィレッジでの開催を予定しています。

高校生が地域の特産品を使い、地域を元気づけるようなスイーツを開発するといったもので、広野町としては、みかんやバナナ等を使って新たな特産品を開発していただくという取組です。

全国放送されるような大きなイベントであり、全国の高校生から参加するチームを募集します。また、高校生の技術では店頭に出すところまでいかないため、大会を運営する審査員、洋菓子の研究者やお菓子の専門事業者がアドバイスを行うような内容になっています。

## 令和5年度3月補正予算

会計名		補正額	補正後の予算額	主な内容（一般会計）
一般会計		▲1億9663万円	56億 717万円	○庁舎管理費 役場庁舎エレベーターの更新見送り等による4775万円減  ○移住定住促進対策費 一部事業見送り、請負差額による2億4356万円減  ○防災対策費 自動通話録音機等購入費補助金の申請件数過少等による439万円減
特別会計	国民健康保険	▲645万円	8億2592万円	
	土地開発事業	▲625万円	9118万円	
	公共下水道事業	▲1274万円	1億9463万円	
	農業集落排水事業	▲80万円	3617万円	
	介護保険	▲6116万円	7億6653万円	
	後期高齢者医療	▲55万円	4170万円	
合計		▲2億8458万円	75億6330万円	

## 移住・定住推進対策費

遠藤 浩 議員

委託料減の理由は？

移住定住推進支援業務委託料を5500万円の減としていますが、事業が実施できなかったのか伺います。

小松 復興企画課長

業務委託を見送り

当初、移住定住推進に係る企画立案について、職員に経験がなく、専門事業者に委託してきましたが、事業3年目を迎え、復興庁との協議において、職員自ら実施するのが望ましいということになり、企画立案業務の委託については見送りました。



移住・定住体験ツアー（教育の丘）

## 条例

### 手話言語条例の制定

町民や事業者に手話及びろう者（聴覚障がい者のうち、手話を言語として生活する者）に対する理解を広め、ろう者が手話を使用して暮らしやすい地域社会の実現に寄与することを目的に、手話言語の理解及び普及等に関する基本理念を定める条例が制定されました。

渡邊 忠義 議員

理解・普及の取り組みは？

ろう者が来庁した際に、手話のコミュニケーションが取れる職員を配置するのが、公民館事業で町内で手話ができる人を増やしていくのか伺います。

遠藤 町長

公民館事業から取り組む

職員配置については、スキル面から難しいところがあり、電子媒体を使って取り組んでいきたいと考えています。公民館事業から、手話の理解と普及の取組をしていきたいと考えています。

## 指定管理者の指定

指定管理者制度は、民間事業者等に公の施設の管理を代行させ、住民サービスの向上、経費の削減を図りながら、多様化する住民のニーズにより効率的・効果的に対応していくための制度です。

今定例会においては、3つの福祉施設に係る令和6年4月1日から令和9年3月31日までの指定管理者の指定について審議を行いました。

### 広野町老人福祉センター

- 指定管理者となる団体  
社会福祉法人 広野町社会福祉協議会（広野町中央台）

- 指定管理料（3年間総額）  
3 8 7 8 万円



老人福祉センター

### 広桜荘

- 指定管理者となる団体  
社会福祉法人 広野町社会福祉協議会（広野町中央台）

- 指定管理料（3年間総額）  
4 2 1 5 万円



広桜荘

### 広野町特別養護老人ホーム花ぶさ苑

- 指定管理者となる団体  
社会福祉法人 光美会（いわき市内郷）

- 指定管理料（3年間総額）  
8 8 0 0 万円



花ぶさ苑



高木 光雄 議員

### 管理者の指定方法は？

広野町老人福祉センターの指定管理について、申請があったのは1社だけだったのか伺います。

佐藤 健康福祉課長

### 実績を踏まえ、公募によらず指定

指定管理者の指定については、原則公募とされていますが、広野町社会福祉協議会が開所以来、管理運営を受託してきた経緯があり、その実績を踏まえて公募によらず指定をしています。

## 人事

### 広野町副町長の選任

現副町長の松本正人氏が令和6年3月31日で退職することから、後任の副町長として、県に派遣要請をし、推薦いただいた杉浦孝幸氏を適任者と認め、選任することに同意しました。

任期は令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間です。



すぎうら たかゆき  
杉浦 孝幸 氏

遠藤 浩 議員

### 副町長として期待することは？

選任者について、副町長としての期待、こういった業務を遂行していただきたいか伺います。

遠藤 町長

### 職員指導、関係機関との連携を期待

適切かつ確実な業務遂行にあたる職員の指導と広野町の復興・町政進展に向けて、国や県、関係機関と連携を図って取り組んでいくことを期待しています。

### 略 歴

平成29年 福島県土木部政策監  
平成30年 福島県立図書館長  
令和2年 小名浜石油埠頭(株) 代表取締役

## 令和6年第1回臨時会

令和6年第1回臨時会を2月2日、1日の会期で開きました。令和5年11月に閣議決定された、物価高により厳しい状況にある生活者への給付金に係る一般会計補正予算や人事を審議し、原案のとおり可決しました。

## 人事

### 固定資産評価審査委員会委員の選任

令和6年2月29日で任期満了となる池田政明固定資産評価審査委員会委員を適任者と認め、再任することに同意しました。

任期は令和6年3月1日から令和9年2月28日までの3年間です。



いけだ まさあき  
池田 政明 氏  
(折木)

高木 光雄 議員

### 委員の選任方法は？

固定資産評価審査委員会委員は鑑定士等の資格を持った人を選んでいるのか伺います。

飯島 総務課長

### 資格の有無ではない

鑑定士等の資格の有無では選んではいません。

### 令和5年度2月補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1964万円	58億 381万円
主な内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高騰対応重点支援事業</li> <li>・物価高騰対応重点支援事業（こども加算）</li> </ul>		

# 報告

を報告します

● 2月15日（木）  
● 総務文教常任委員会  
● 調査件名  
● 給食センターの改修について  
● 広野駅周辺開発について

総務文教

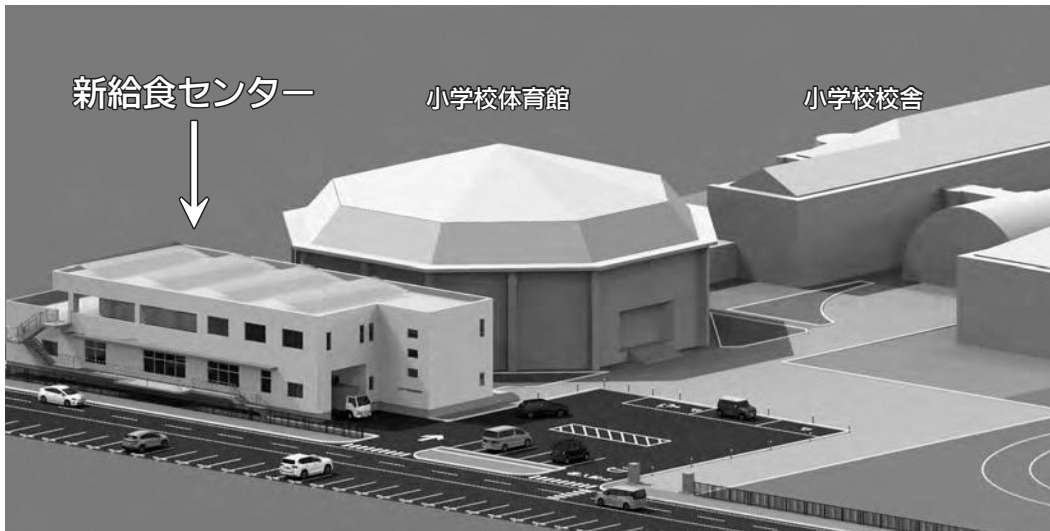
## 給食センターの建設

● 新給食センター建設  
約300食の提供が可能な施設として、広野小学校体育館の西側に建設することです。

単に児童生徒への給食提供に留まらず、2階部分には会議室や展示、調理室を見学できる見学窓を設置し、食育の推進を図ることです。

● ロータリー  
新給食センターの南側、現在の校門付近は車椅子用駐車場などを含むロータリーを整備し、児童や車の往來の安全を確保することです。

● 現給食センター解体  
新給食センターの完成後、現給食センターの解体を行うこととした。非飛散性アスベストを含む建材が使用されていることから、厳重な対策を行った上で解体し、跡地は職員



新給食センター（イメージ図）

駐車場として整備することとした。

総務文教

## 広野駅周辺開発

● 広野駅  
令和6年度にJR水戸支社によるコンパクト駅舎の建設工事、令和7年度に町が駅交流施設の建設工事を実施し、令和8年度に駅西側の歩車道分離型ロータリー整備を実施することとした。

● 駅東側住宅開発  
造成工事、区画内の分筆・確定測量が完了し、先行販売された5区画の内、1区画が売却となり、さらに約20区画の販売が開始されたこととした。

● 駅東側産業団地  
現在、4区画の空き地があり、広野薬局南



株式会社二光製作所進出予定地

● 2月13日 (火)  
● 産業厚生常任委員会

調査件名

- 浅見川源流域の水質保全について
- 所管施設の調査について

# 委員会

## 各常任委員会の活動状況



浅見川源流域の開発区域



浅見川源流域の開発区域 (調整池付近)



味噌製造室

産業厚生

### 浅見川源流域の水質保全

● 台風13号時の濁水  
濁水発生の原因は浅見川源流域(いわき市小川町上小川字中戸渡)でのソーラー発電大規模林地開発区域の調整池が未完成で濁水が下流域に流入したことにあり、町は開発許可権者の福島県に濁水により、浄水場を停止したこと、生態系に影響を与える懸念があったことを伝えるとともに、調整池

の早期完成と下流域自治体への情報提供を依頼したとのことでした。  
● 巡回・監視  
開発許可については、開発区域はいわき市内であり、下流域の広野町には事前の意見照会が手続き上、不要とのことでした。

● 水質検査  
巡回・監視を継続し、問題点があれば事業者に相談するとのことでした。  
双葉地方水道企業が年1回実施する小滝浄水場の原水が飲み水として適切かどうかの検査に加え、町で除草剤等に特化した源流域の水質検査の実施を検討しているとのことでした。

産業厚生

### 農産物加工施設

● 活用状況  
平成30年12月まで、町内の農家等で設立された「企業組合ひろの」が営利目的で活用し、令和3年3月以降は、営利を目的としない個人での味噌の加工や餅製造に活用されているとのことでした。  
● 備品の管理状況  
令和3年3月から活用再開する前に業者に見て頂いており、活用できる状況になっているとのことでした。

● 利用料金  
条例に定める利用料金限度額月額8万円と令和3年度の施設使用時の水道光熱費から1時間あたりの金額を算出し、1棟1時間あたり110円の単価設定をしているとのことでした。

# 一般質問

# 5人の議員が 町政を問う

# 一般質問



一般質問は、行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、説明を求めたり、所信を問いただすものです。

渡邊 忠義

- 外国人を受け入れた事業者に対し、雇用に係る費用の一部助成と居住支援について
- 広野火力発電所1・3・4号機（計260万kw）の廃止による税収への影響はどの位ですか

P13

西本 久雄

- 地域経済の展望・雇用の創出について

P14

西内 玄太

- 「おむつ定期便」の実施について

P15

高木 光雄

- 広野町ゼロカーボンシティ宣言後の実態について
- 広野町と各機関との協定締結について
- 子ども議会開催をつうじて
- F-REI（福島国際研究教育機構＝エフレイ）に望むことは

P16

遠藤 浩

- 町内や周辺地域への柔軟な移動手段の確保とその効果について

P17

## 追跡 レポート

議員の質問・提言に答える町執行部、その質問・提言をどう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

令和5年12月定例会 一般質問 門馬 まりえ 議員

地域公共交通活性化事業“NOSSE（のっせ）”を利用した町民の声は？

### 門馬 まりえ 議員

デマンドタクシーはすごく助かるという声も聞こえてきますが、タクシー券の方が便利だったという意見もあります。一層利便性を感じるような方法を取るべきではありませんか。



### タクシー利用料金助成事業を再開

町民バス（路線形式）とデマンド交通に加えて、令和6年度から「タクシー利用料金助成事業」を再開することとなりました。



タクシー券



わたなべ ただよし  
渡邊 忠義 議員

## 外国人労働者雇用

### 費用の助成、居住支援の実施は？

町長／ニーズや実態を把握し、検討する

**渡邊**：日本の労働市場では、一部の産業や職種で労働者不足が発生しており、当町においても、労働力が不足しているようです。

町内事業者が外国人の受け入れをした場合に、雇用に係る費用の一部助成、居住支援を斡旋できる環境整備としてはいかがでしょうか伺います。

### 1・3・4号機廃止の影響は？

町長／現段階においては、影響はない

**渡邊**：株式会社JER Aは、長期計画停止していた広野火力発電所1・3・4号機を10月5日に廃止することとし、経済産業省に発電事業変更届出書を提出しました。

町長：人手不足を解消するため、県内でも外国人を雇用する企業が年々増加している傾向にあり、町内においては、企業や医療・福祉法人が在留資格を有し、住民登録した外国人を雇用している状況にあります。

企業や医療・福祉法人における外国人雇用のニーズや雇用形態の実態を把握したうえで、受け入れ事業者に対する支援策について検討し取り組みます。

広野火力発電所の、令和元年度から本年度までの5年間の各年度の町税収に占める割合と、償却資産に係る税額を教えてください。

**町長**：町税に占める割合は、令和元年度が52.7%、令和2年度が46.7%、令和3年度が47.2%、令和4年度が25.4%、令和5年度が24.8%です。

次に、償却資産に係る税額につきましては、令和元年度が13.4億

## 広野火力発電所

### 1・3・4号機廃止の影響は？

町長／現段階においては、影響はない

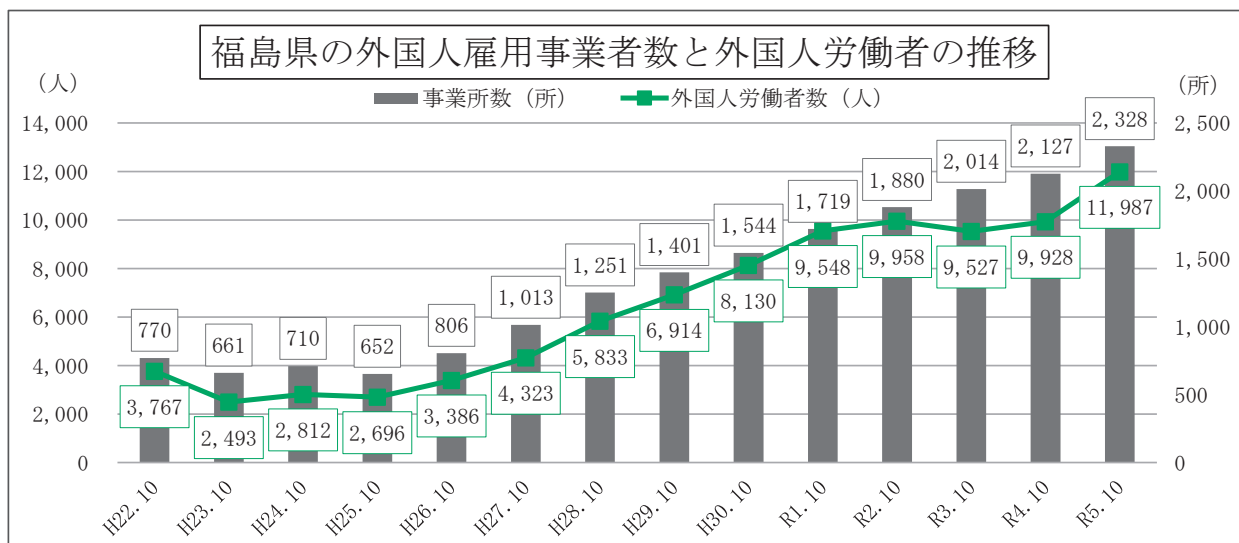
円、令和2年度が11.9億円、令和3年度が10.9億円、令和4年度が9.8億円、令和5年度が9.2億円で

**渡邊**：廃止が与える税収への影響はどのくらいなのか伺います。

**町長**：償却資産は、減価償却額が法人税法の規定による損益の計算上、損金に計上されている場合に、固定資産税が課税されます。

償却資産の除却の時期がいつになるのかにより税収が影響され、現段階においては、設備の解体、撤去等の除却の日程が決まっていないため、税収への影響はないと捉えています。

福島県の外国人雇用事業者数と外国人労働者の推移



●参考文献

厚生労働省福島労働局. “福島県における「外国人雇用状況」の届出状況まとめ (令和5年10月末現在)”.



にしもと ひさお 議員  
西本 久雄

地域経済・雇用

目標達成に向けた過程と見解は？

町長／工業・産業団地を造成、企業進出を支援する

西本：「第5次広野町町勢振興計画・基本構想」において、目標年度を2025年としています。

利便性の高い生活環境づくりとして駅東側の開発・整備、駅西側の開発周辺の商業・医療サービスの集積とありますが、9年経過し、どのような方針を取られてきたのか伺います。

町長：「双葉郡復興の拠点となる環境と共生した利便性の高いまち」を標榜し、東日本大震災・原子力事故後の「ふるさと復興・創生」に資する事業を展開してきました。

役場前に建設した「ひろのてらす」は住民帰還の促進に大きな役割を果たしました。復興・創生の拠点とした広野駅東側開発整備事業では、第一期開発として産業団地を造成し、企業誘致による地元雇用の創出を進め、これまでオフィスビル

第二期開発では、47区画の住宅団地を造成し、移住・定住の受け皿として、人口減少に歯止めをかけるべく取り組んできました。

また、「未来の架け橋」を整備し、駅構内の跨線橋と合わせエレベーターを設置するなど、バリアフリー化にも取り組み駅利用者の利便性を向上させました。

今後、広野駅舎の改修及び駅西側ロータリーの整備を実施し、更なる利便性の向上に向け取り組みを進めていきます。

町長：地元雇用の確保を念頭に、広野工業団地の再造成や駅東側産業団地、東町産業団地の新規造成にも取り組み、自立・帰還支援雇用創出企業立地交付金を活用した企業誘致を進めてきました。

新たな産業の創出としては、福島イノベーション・コースト構想、福島国際研究教育機構（エフレイ）の具現化に伴い、協定を締結している大学などの研究機関と並走するベンチャー企業やイノベーションを起こす意欲のある企業の進出を支援してまいります。

西本：若い世代、働き世代への雇用の創出、また新たな産業の創出への取組は、どの様にしているのか伺います。

「ひろのてらす」は、若い世代、働き世代への雇用の創出、また新たな産業の創出への取組は、どの様にしているのか伺います。



オープン8周年を迎えた「ひろのてらす」

# おむつ定期便

## 広野町での実施は？

### 町長／ニーズを捉えて検討する



にしうち げんた  
西内 玄太 議員

西内：兵庫県明石市の「5つの無料化」を中心とした子育て支援政策が注目されています。「5つの無料化」の内容は、こども医療費の無料化、第2子以降の保育料の完全無料化、0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」、給食費の無料化、公共施設の入場料無料化となっています。

町長：町は、子育て家庭の経済的支援として、出産祝金・小中学校入学祝金の支給、チャイルドシート購入助成、給食無償化など町独自の支援を行っています。令和6年度からは、新たに0歳児から2歳児の広野町民の保育料の無償化を実施します。0歳児の見守り訪問につきましては、保健師において、赤ちゃん訪問を実施することにより、子育ての不安や悩みの相談を受けており、経過観察が必要な家庭については、訪問や電話連絡等、継続的な支援を実施しています。

加えて、令和6年度からは家事・育児等の不安や負担を抱える子育て家庭等を対象とした「子育て世帯訪問支援事業」を実施する予定です。現在、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする第3期広野町子ども子育て支援計画策定に向けアンケート調査を実施しており、0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」については、子育て世帯のニーズを的確に捉えて検討していきます。

## 「5つの無料化」に係る広野町の支援状況

区分	広野町の支援状況
こども医療費	18歳以下の医療費を無料化。 ※福島県内全市町村で実施
給食費	広野小中学校生・こども園児の給食無償化。
公共施設の入場料	テニスコート、体育館、パークゴルフ場等で子ども料金を設定。
保育料	令和6年度より0歳児から2歳児の広野町民の保育料を無償化。 ※延長保育を除く
0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」	0歳児の見守り訪問を実施。 毎月おむつ等の子育て用品を自宅に届ける「おむつ定期便」は今後検討。



たかぎみつお 議員  
高木 光雄

## ゼロカーボンシティ宣言

### 具体的な取り組みの説明・周知は？

町長／ゼロカーボンビジョン説明会を開催

高木：町民や事業者へ具体的な取り組み方法の説明及び周知方法等について現状の進捗を伺います。

併せて、昨年10月に広野火力発電所1・3・4号機の廃止を、株式会社JERAより発表がありました。今後のゼロカーボンビジョン策定に変更等はないか伺います。

町長：「広野町ゼロカーボンビジョン説明会」を開催し、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた説明と事業所及び家庭において実施すべき内容についての勉強会を行いました。

株式会社JERAにおきましては、2050年までに「ゼロエミッション火発」を実現させる目標を掲げており、そのタイムスケジュールには変更ありません。

## 協定締結

### 定期的な意見交換・協議等の実施は？

町長／災害時の情報共有等を実施

高木：町は多くの機関と協定締結していますが、目的と締結数を伺います。

高木：各協定者と定期的に意見交換・協議会等を実施しているのか伺います。

町長：防災30件、労働9件、総合連携26件、友好都市4件、福祉医療5件、その他26件、合計100件となっております。

町長：災害発生時の情報共有、支援の有無等の確認、相互のイベント参加、共同研究、意見交換等を行っています。

## 福島国際研究教育機構(エフレイ)

### 連携・協力する分野は？

町長／放射線創薬医療の分野で協力

高木：当町がエフレイの新産業創出等研究開発協議会構成員として、今後どのような分野で連携し、協力体制を構築する考えなのか、現在の活動を含めて伺います。

町長：東京大学アイソトープ総合センターのアルファ線放出核種を使った新たな「がん治療薬」の開発を目指す研究について、引き続き協力関係を維持し取り組んでいきます。

## 子ども議会

### 子ども達の提案への対応は？

町長／具現化を含めた結果を報告

高木：広野中学校生徒による「子ども議会」をどのように捉えておられるのか伺います。

高木：今回、子ども達が提案したことは、既に対応されたのか、伺います。

町長：主権者教育とふるさと創造学（総合学習）の総仕上げとして、町当局に質問をすることで、生徒たちが学習して得た情報や考えを地域に還元し、中学生が地域運営に参画する場として捉えております。

町長：提案内容については、町は、将来を担う子どもたちの意見をしっかりと受け止め、町民の生活に資する事業かどうかを精査し、これまでの取り組みについて、具現化を含めた結果を全生徒に報告しています。



# ライドシェア

## 広野町での推進は？

### 町長／難しい状況、動向を捉えていく

**遠藤**：町内や周辺地域への公共的かつ柔軟な移動手段となり得る「ライドシェア」の推進について、町長のお考えを伺います。

**町長**：ライドシェアの許可基準として、一般乗用旅客自動車運送業の許可を受けていること、管理運営体制や損害賠償能力があること、許可に付する条件として、使用する自家用自動車の制限、ドライ

えんどう ひろし  
**遠藤 浩** 議員

**町長**：電動車椅子は、介護保険制度において要介護度2以上の受給者を対象に、福祉用具としてレンタルすることが可能ですが、当町において電動車椅子を利用する受給者はおりません。

バーに対しての事前研修や利用者とタクシ事業者間で運送契約が締結され、タクシ事業者が運送責任を負うなどがあり、当町におけるライドシェア推進は難しい現況にあると受け止めており、動向を捉えていきます。

**遠藤**：日常生活における歩行移動や健康増進に役立つ「電動モビリティ」の推進について町長のお考えを伺います。

また、電動車椅子などのパーソナルモビリティの普及には、道路や歩道等の段差解消などバリアフリーの環境が必要です。

町民の方々が住み慣れた地域でより長く生活を送れ、高齢者や障がい者に優しい「福祉のまちづくり」の実現に向けた事業に取り組んでいきます。

**遠藤**：「ライドシェア」や「電動モビリティ」が町内に定着することで、町が掲げる「ゼロカーボン」に対する波及効果も期待できると思います。町長のお考えを伺います。

**町長**：ライドシェアや電動モビリティの定着により、町内を走行するガソリン車の台数が減少することにより二酸化炭素排出量の抑制が期待されます。

町は、令和6年度新規事業として、燃料電池自動車又は電気自動車等の普及を促進し、地球温暖化対策の推進を図ることを目的として、次世代自動車及び電気自動車等充電設備の導入に対する補助制度を創設します。

## ●日本型ライドシェア（自家用車活用事業）

タクシーが不足する地域・時期・時間帯を「公共の福祉のためにやむを得ない場合」として、タクシー事業者の管理の下で地域の自家用車や一般ドライバーによって有償で運送サービスを提供することを可能とする制度です。

## ●パーソナルモビリティ

電動キックボード、電動アシスト自転車、電動車椅子など。若者の手軽な移動手段、高齢者や身体の不自由な方、子育て世代の方の移動支援、過疎地における交通手段、さらには環境負荷の低減など、様々な社会問題を解決するアイテムとして注目されています。

# 議案等の審議結果

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 病：病気等 退：退席 除：除斥 無：無記名投票  
 ※議長は採決に加わりません。

## 令和6年2月 第1回臨時会

議案等番号	件名	議決 月日	出 席 者 数	表 決 者 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	議 員 名 (議席番号順)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
								西 本 久 雄	渡 邊 忠 義	高 木 光 雄	渡 邊 正 俊	西 内 玄 太	北 郷 伯 弘	遠 藤 浩	門 馬 ま り え
議案第1号	令和5年度広野町一般会計補正予算(第5号)	2/2	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第2号	令和5年度広野町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	2/2	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第3号	広野町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	2/2	8	7	7	0	原案同意	○	○	○	議	○	○	○	○

## 令和6年3月 第1回定例会

議案第4号	広野町手話言語条例の制定について	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第5号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第6号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第7号	広野町介護保険条例の一部を改正する条例	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第8号	双葉地方広域市町村圏組合規約の変更について	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第9号	指定管理者の指定について(広野町老人福祉センター)	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第10号	指定管理者の指定について(広桜荘)	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第11号	指定管理者の指定について(広野町特別養護老人ホーム花ぶさ苑)	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第12号	令和5年度広野町一般会計補正予算(第6号)	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第13号	令和5年度広野町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第14号	令和5年度広野町土地開発事業特別会計補正予算(第3号)	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第15号	令和5年度広野町公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第16号	令和5年度広野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第17号	令和5年度広野町介護保険特別会計補正予算(第4号)	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第18号	令和5年度広野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第19号	令和6年度広野町一般会計予算	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第20号	令和6年度広野町国民健康保険特別会計予算	3/15	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第21号	令和6年度広野町土地開発事業特別会計予算	3/15	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第22号	令和6年度広野町介護保険特別会計予算	3/15	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第23号	令和6年度広野町後期高齢者医療特別会計予算	3/15	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第24号	令和6年度広野町下水道事業会計予算	3/15	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
議案第25号	広野町副町長の選任に関する同意を求めることについて	3/15	8	7	7	0	原案同意	○	○	○	議	○	○	○	○

審議結果

# 会議等出欠状況

議会の議長や、各委員長等から招集通知があり、開催された会議や研修の出欠状況です。

このほかにも、町が主催する式典や小・中学校の発表会、広域圏組合や双葉地方町村議会議長会が主催する会議にも出席しています。

令和6年1月1日～3月31日

○:出席 ×:欠席 △:遅刻、早退 -:員外 弔:弔事 研:研修 公:公務 病:病気等

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8
				西本 久雄	渡邊 忠義	高木 光雄	渡邊 正俊	西内 玄太	北郷 伯弘	遠藤 浩	門馬 まりえ
出席回数(回)				17	14	16	17	18	16	16	13
会議回数(回)				17	14	16	17	18	16	16	13
1	9	火	広報委員会	○	-	○	○	○	○	○	-
	11	木	広報委員会	○	-	-	-	○	-	-	-
	18	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○
2	1	木	双葉地方町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	金	令和6年第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	日	西会津雪国まつり	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	火	産業厚生常任委員会	-	○	○	○	-	○	○	-
	15	木	総務文教常任委員会	○	-	-	○	○	-	-	○
	15	木	広報委員会	○	-	○	○	○	○	○	-
	16	金	福島県町村議会議長会新人議員研修会	○	○	○	-	○	-	-	-
	21	水	令和6年度予算勉強会	○	○	○	○	○	○	○	○
22	木	折木地区土砂採取区域の視察会	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	1	金	議会運営委員会	-	○	-	○	○	○	○	○
	7	木	令和6年第1回定例会(1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	月	令和6年第1回定例会(5日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	火	令和6年第1回定例会(6日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	木	令和6年第1回定例会(8日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	金	令和6年第1回定例会(9日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	木	広報委員会	○	-	○	○	○	○	○	-

## 勉強会・視察会

令和6年3月の第1回定例会に先立ち、2月21日に令和6年度予算勉強会、2月22日に折木地区土砂採取区域の視察会を実施し、令和6年度の重点事業や現地の状況について担当課長から説明を受けました。



勉強会



視察会

## 議会の様子を見てみませんか？

### 次回の定例会は6月です

議場傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名をご記入いただくだけで、議会を傍聴できます。

また、定例会の録画映像をインターネットでも配信しています。

広野町ホームページまたは、下のQRコードからアクセスできますので、ぜひご視聴ください。

●議会映像ホームページ

<http://hirono.k-quick.net/>



# まちかど ま インタビュー



## 保育料無償化事業

### 町の取組について思っていることは？

令和6年度より広野町民（0～2歳児）の保育料が無償化されました。子育て世代や若い世代の移住定住促進にも繋がるのが期待されます。

町の取組について、町の子育て世帯の方、子育て支援を行う方に双方の視点からご意見を伺いました。



坪井 浩輔さん・由華さん  
優芽奈ちゃん  
(下北迫)

0～2歳の保育料無償化と聞いて、広野町が子育てし易い環境となることを大変うれしく思います。

私達も仕事の再開を考慮し、利用していきたいと思っています。

現況のことも園の受入数が気になるところです。利用する時に満員になっていなければと思います。

折角の事業となるので、受け入れ体制等もしっかり強化していただけたらと思います。



穴戸 由香さん  
(広野こども園長)

保育料無償化がされたことは、保護者の方達からも喜ばれ、園児も増え、子育てし易い環境となるので良いことだと思っています。

子どもを受け入れる側として今後の体制づくりを十分に行っていききたいと思っています。

## 編集後記

やわらかな春風に心華やく季節となりました。町内の景色は、花や草木が芽吹き淡く優しい色に染まっておりまふ。そんな心穏らぐ中、初々しい小・中・高の新入生が楽しそうに登校する姿や稲作に賑わう田んぼの風景を目にすると、町全体に活気が広がって行く感覚を覚えまふ。

今後も開かれた議会運営および分かりやすく読んで頂ける議会だよりの発行に努めてまいります。

(遠藤 浩)

さて、町も令和6年度がスタートいたしました。各種行政事業が施行されてまいります。

議会といたしましては、今年度から議会改革の一環として、町民の皆様との意見交換会を実施してまいります。



春を告げる桜

- 発行・編集責任者  
議長 渡邊正俊  
広報委員会  
委員長 西内玄太  
副委員長 西本久雄  
委員 遠藤 浩  
委員 北郷伯弘  
委員 高木光雄

次の定例会は6月です